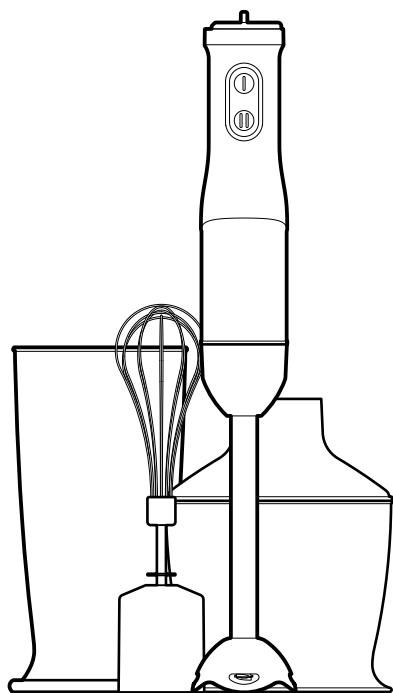


siroca

チョッパー付き ハンドブレンダー

SM-B251



取扱説明書 保証書つき

このたびはシロカ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この製品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。

この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえ	4
使いかた	5
お手入れ	10
故障かなと思ったら	12
仕様	13
部品・消耗品	14
保証とアフターサービス	15
保証書	16

この製品は家庭用です。業務用には
お使いにならないでください。

日本国内専用

USE ONLY IN JAPAN

安全上のご注意

— 必ずお守りください —

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

表示の説明



警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

図記号の説明



禁止(してはいけない内容)を示します。



強制(実行しなくてはならない内容)を示します。

警告



分解禁止

分解、修理や改造を絶対に行わない

発火・感電・けがの原因になります。
修理は、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターにご相談ください。



禁止

子どもや介護の必要な方だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

やけど・感電・けがの原因になります。



禁止

子どもや乳幼児の手の届くところに置かない

やけど・感電・けがの原因になります。



水ぬれ禁止

本体、泡立て器接続部、チョッパー専用ふたを水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電・故障の原因になります。



接触禁止

ブレンダーのカッターなどの刃に直接手を触れない

鋭利なため、けがの原因になります。



製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜く

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

<異常・故障例>

- ・電源コードやプラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- ・電源コードの一部やプラグがいつもより熱い
- ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- ・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターに点検・修理を依頼してください。



禁止

本体を落としたり、衝撃を加えたりしない

感電・故障の原因になります。

電源コード・電源プラグについて



接触禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードが傷んでいたりと、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。
傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む など



コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない
たご足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。



電源プラグの刃および刃の取りつけ面に付着したほこりは定期的に拭き取る

ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
感電やショートによる発火の原因になります。



運転が停止していることを確認してから、電源プラグを抜き差しする

けがの原因になります。



プラグを抜く

部品の取り付け・取りはずし・お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く

感電・けがの原因になります。



プラグを抜く

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く

使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

警告

設置に関する注意事項



不安定な場所や滑りやすい場所に容器を置いて使わない

転倒によるけが・故障の原因になります。以下のような物の上では使わないでください。
テーブルクロス、ビニール、紙、おぼん など

禁止



屋外で使わない

ほこりや虫などの混入・故障の原因になります。

禁止

注意

使用上の注意事項



容器が空の状態でもーターを運転しない
モーター故障の原因になります。

禁止



使用中に容器を移動しない
転倒により、けが・故障の原因になります

禁止



部品は必ず専用のものを使う
異なる製品のカッターや泡立て器などをお使いになると、部品の破損による調理物への混入・けがの原因になります。



定格時間を超えて連続運転をしない
定格時間を超えてお使いになる場合は、電源プラグを抜き、30分以上休ませてから運転してください。故障の原因になります。

禁止



容器いっぱい材料を入れて使わない
故障の原因になります。

禁止



電源コードやブレンダー、泡立て器、チョッパー専用ふただけを持って本体を移動しない
部品が外れて、けが・故障の原因になります。

禁止



容器内、または鍋底でひきずらない
容器や鍋の材質により、傷つく恐れがあります。

禁止



カッターや泡立て器の回転が完全に止まるまで容器から取り出さない

使用中に材料を加える場合は、必ず電源を切り、カッターや泡立て器の回転が止まってから材料を加えてください。材料のふきこぼれ・けが・故障の原因になります。

禁止



運転中に部品の取り付け・取りはずしをしない

けが・故障の原因になります。

禁止



材料が多すぎるなどの原因で運転が止まった場合は、すぐに電源を切って電源プラグを抜き、材料を減らしてから再度運転する
故障の原因になります。



調理以外の目的では使わない
故障の原因になります。

禁止



本製品は家庭用のため、業務用として使わない
故障の原因になります。

禁止



本製品をぬれた状態で使わない
けが・故障の原因になります。

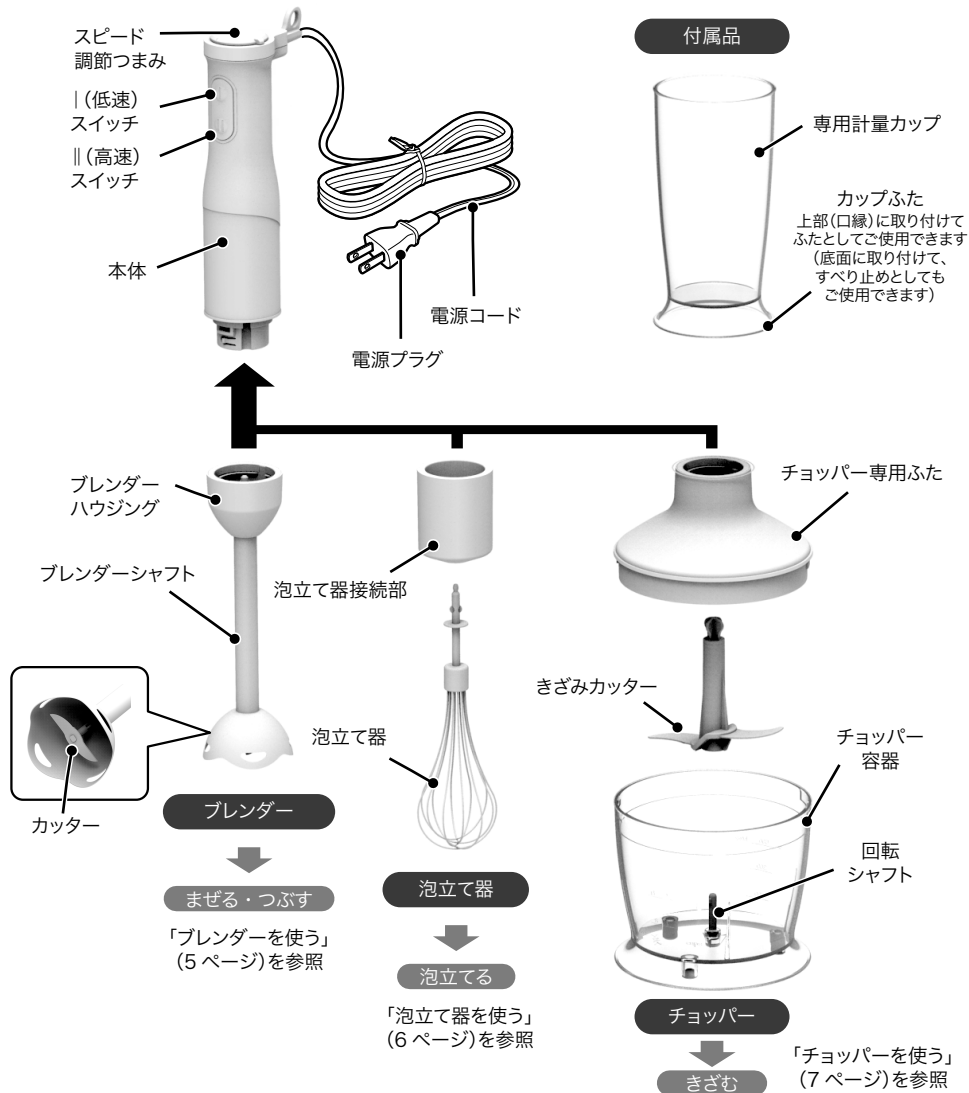
禁止



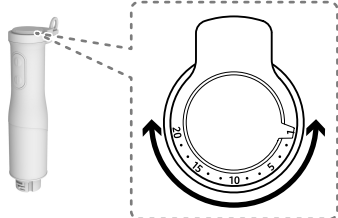
チョッパー容器や専用計量カップは電子レンジやオープンにいれない
故障の原因になります。

禁止

各部のなまえ



スピード調節つまみ



調理内容やお好みによって、回転速度が調節できます。
 《I》(低速)ではスピード調節つまみを使って1→20の順に速くすることができます。
 回転速度を最速にしたい場合は、《II》(高速)スイッチを押してください。
 《II》(高速)ではスピード調節つまみで調節することなく回転速度を最速にできます。

| 使いかた

ご注意

- ・ はじめてお使いになるときは、本体・泡立て器接続部以外の部品をスポンジと台所用中性洗剤を使ってよく洗ってから組み立ててください。チョッパー専用ふたは、内側のみ洗えます。ただし、外側の接続部には水をかけないでください。➡「お手入れする」10ページ
- ・ 組み立ては必ず電源プラグを抜いた状態で行ってください。

ブレンダーを使う

▶ ブレンダーでできること(例)

- ・ 果物や野菜と水分を混ぜ合わせて、フレッシュジュースやスープを作る
- ・ ディップ、ソース、マヨネーズ、離乳食などを作る

▶ ブレンダーで調理できない食品

- ・ 肉類、魚類
- ・ 粘り気の強い食品(やまとも・じねんじょ・生わかめ・ジャム・納豆 など)
- ・ かたい食品(氷砂糖・市販のロックアイス)
- ・ 乾燥食品(かつおぶし・乾燥したきのこ・干しえび・昆布など)

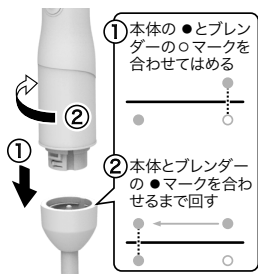
1 材料を準備し、容器に入れる

やわらかい食品は2 cm角、かための食品は1 cm角程度に小さく切って入れてください。大きいとうまくかくはんできないことがあります。

ご注意

- ・ 水分を入れなくて、食品だけでかくはんしないでください。
- ・ 使用時は、あらかじめ熱を取ってお使いください。やけどの原因になります。

2 ブレンダーを本体に取りつける



ご注意

- ・ ブレンダーの刃に直接手を触れないでください。けがの原因になります。

3 電源プラグをコンセントの奥まで確実に差し込む

4 スピード調節つまみで回転速度を調節する

5 ブレンダーシャフトを容器に入れ、《I》(低速)スイッチまたは《II》(高速)スイッチを押して容器内の材料をかくはんする

うまくかくはんできない場合は、数回《III》(高速)スイッチを押して断続的にかくはんしてから連続運転をしてください。



運転時間が、定格時間(1分)を超えないようにしてください。続けて使用するときは、必ず電源プラグを抜き、30分以上休ませてください。

ご注意

- ・ 容器の材質により傷つくことがあります。容器の取扱説明書を必ず確認してから、ご使用ください。
- ・ 容器が空の状態でも運転しないでください。故障の原因になります。
- ・ 運転中に材料液面より上にカッター部を持ち上げないでください。材料が飛び散るおそれがあります。
- ・ 底面に吸いついて動かしにくい場合は、一度スイッチから指を離し、材料に当て直してからかくはんを再開してください。

6 調理が終わったら、指を離してスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く

カッターの回転が完全に止まってから、本体を右に回してブレンダーを取り外します。

泡立て器を使う

▶ 泡立て器でできること(例)

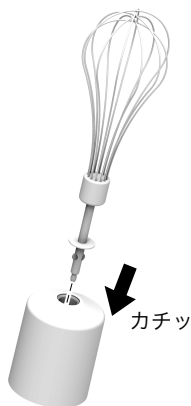
- 生クリームや卵白、ホイップクリームを泡立てる
- ドレッシングやソースなどの液体をかき混ぜる

▶ 泡立て器で調理できない食品

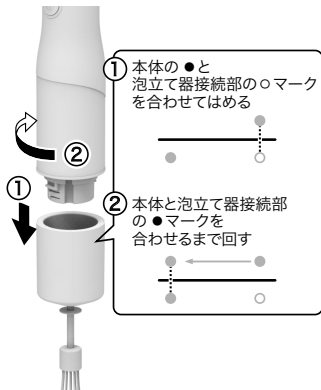
- かたい食品、粘り気の強い食品(パン生地・クッキー生地・かたいバターなど)

1 材料を準備し、容器に入れる

2 泡立て器接続部の差し込み口の溝と、泡立て器の凸部を合わせて、「カチッ」と音がするまで差し込む



3 泡立て器を本体に取りつける



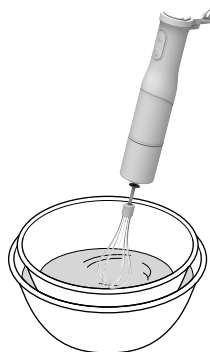
4 電源プラグをコンセントの奥まで確実に差し込む

5 スピード調節つまみで回転速度を調節する

6 泡立て器を容器に入れ、《Ⅰ》(低速)スイッチまたは《Ⅱ》(高速)スイッチを押して容器内の材料をかくはんする

泡立て器を少し傾けて、時計回りに動かしながら泡立ててください。
生クリームは冷蔵したものを使い、氷水でボウルを冷やしながらかき混ぜます。

生クリームと卵白の最大量の目安
生クリーム：200 ml / 卵白：3個



運転時間が、定格時間(2分)を超えないようにしてください。続けて使用するときは、必ず電源プラグを抜き、30分以上休ませてください。

ご注意

- 勢いよくかき混ぜたり、回転中に本体を持ち上げたりすると、材料が飛び散ることがあります。

7 調理が終わったら、指を離してスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く

泡立て器の回転が完全に止まってから、泡立て器接続部を本体から取りはずし、泡立て器を泡立て器接続部から取りはずします。

➔ 「部品を取りはずす」 **10ページ**

チョッパーを使う

▶ チョッパーでできること(例)

- 肉をミンチにしたり、野菜をみじん切りにする。

▶ チョッパーで調理できない食品

- 粘り気の強い食品(やまといも・じねんじょ・生わかめ・ジャム・納豆など)
- かい食品(氷砂糖・冷凍食品・氷など)
- 乾燥食品(かつおぶし・乾燥したきのこ・干しえび・昆布など)

▶ 食材ごとの調理の目安

	玉ねぎ	パセリ	肉
下ごしらえ	1～2 cm	1～2 cm	1～2 cm
最大容量	150 g	20 g	200 g
調理時間	8～10秒	10～13秒	8～10秒
スイッチ	I (低速)	II (高速)	II (高速)
スピード調節つまみ	5～10	-	-

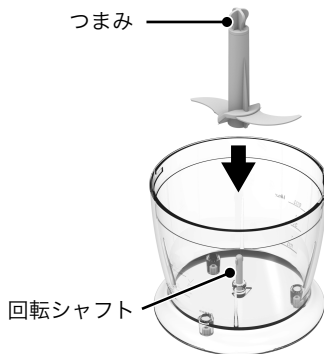
- 肉の筋や魚の骨は、あらかじめ取りのぞいておきます。また、脂身の多い肉は、使わないでください。
- 火を通して調理した材料は、冷やして、あら熱を取っておきます。

チョッパーの準備

ご注意

- きざみカッターの刃の部分には触れないでください。けがの原因になります。

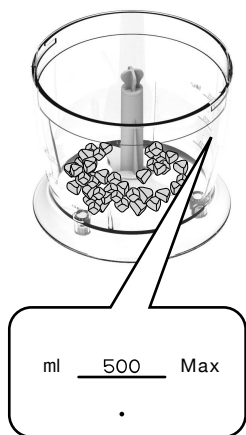
1 きざみカッターをチョッパーに取りつける



- きざみカッター先端のつまみを持って、チョッパー容器の回転シャフトに取りつけます。

▶ チョッパーの使いかた

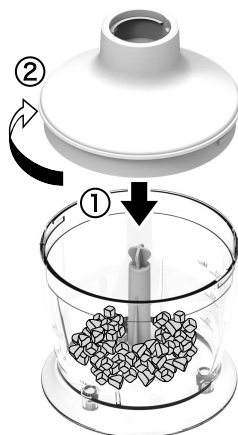
1 材料を準備し、チョッパー容器に入れる



ご注意

- チョッパー容器(500 ml)の《Max》の目盛りを超えて材料を入れないでください。

2 チョッパー容器に、チョッパー専用ふたを取りつける

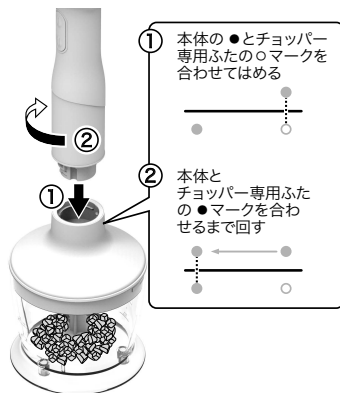


- ① チョッパー専用ふたの2箇所の凸部とチョッパー容器の凹部を合わせてはめる
- ② チョッパー専用ふたを時計回りに回して固定する
チョッパー専用ふたがしっかり固定されていることを確かめてください。

ご注意

- チョッパー専用ふたはしっかりと取りつけてください。取りつけが弱いと、材料がふきこぼれたり、故障の原因になります。
- ふたが閉まらないときは、きざみカッターの軸を少し回転させて閉めなおしてください

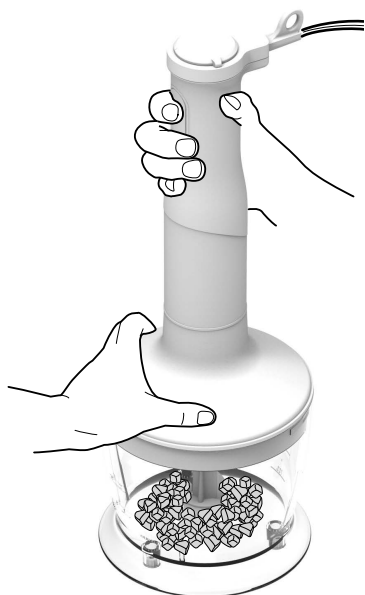
3 本体をチョッパー専用ふたに取りつける



4 電源プラグをコンセントの奥まで確実に差し込む

5 スピード調節つまみで回転速度を調節する

6 《Ⅰ》(低速)スイッチまたは《Ⅱ》(高速)スイッチを押して、チョッパー容器内の材料をかくはんする



- うまくかくはんできない場合は、数回《Ⅱ》(高速)スイッチを押して、断続的にかくはんしてから連続運転をしてください。
- 材料が容器の側面についた場合は、チョッパー専用ふたを開けて、ヘラなどで落とします。

運転時間が、定格時間(1分)を超えないようにしてください。続けて使用するときは、必ず電源プラグを抜き、30分以上休ませてください。

7 調理が終わったら、指を離してスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く

8 本体をチョッパー専用ふたから取りはずす

- チョッパーの回転が完全に止まってから、チョッパー専用ふたをチョッパー容器から取りはずします。

9 チョッパー専用ふたを取りはずして、ぎざみカッターを取りはずす

- ぎざみカッターは、先端のつまみを持って、回転シャフトから取りはずします。

ご注意

- ぎざみカッターの刃の部分には触れないでください。けがの原因になります。

10 調理物を取り出す

お手入れ

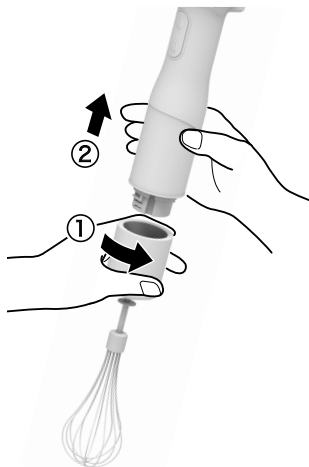
ご注意

- お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- 本体、泡立て器接続部、チョッパー専用ふたは、丸洗いしたり、水にひたしたりしないでください。ショート・感電・故障の原因になります。
- シンナー・ベンジン・研磨剤入り洗剤・みがき粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使わないでください。表面に傷が付く原因になります。
- カッターの刃はたいへん鋭利なため、直接触れないでください。手や指を切らないようにご注意ください。
- 食器洗い乾燥機・食器乾燥機は使わないでください。

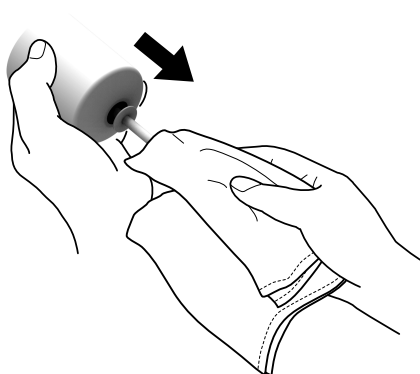
部品を取りはずす

泡立て器の取りはずしかた

1 泡立て器を反時計回りに回し、本体を引き抜く



2 泡立て器部分に布きんなどをかぶせて根本部分を持って引き抜く



お手入れする

本体・泡立て器接続部・チョッパー専用ふたの外側

- 1 めるま湯か、うすめた台所用中性洗剤をしみこませた布を固く絞って拭く
- 2 乾いた布で水分を拭き取り、よく乾かす

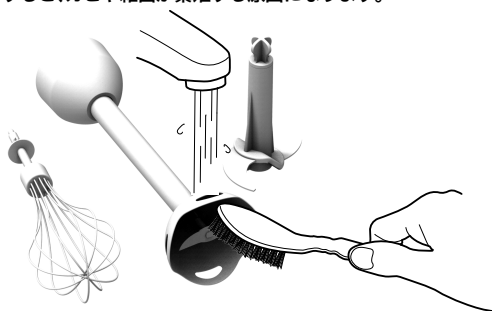


本体・泡立て器接続部以外・チョッパー専用ふたの内側

- 1 スポンジと台所用中性洗剤を使って洗い、よく乾かす

ご注意

- チョッパー専用ふたの内側は水洗いしてください。ただし、外側の接続部には水をかけないでください。
- きざみカッターや、ブレンダーのカッターに塩分が付着した場合は、すぐに水洗いしてください。
- つけ置き洗いはしないでください。
- カッターや泡立て器などは、市販のブラシで洗ってください。
- ブレンダーはブレンダーハウジングの隙間から水がはいることがあります。洗浄後、ブレンダーハウジングを下にして溜まった水が落ちなくなるまで抜いてください。水気が残ったまま保管すると、カビや雑菌が繁殖する原因になります。



Q1 運転しない

- 電源プラグが抜けていませんか。
電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
- 《Ⅰ》(低速)スイッチ、または《Ⅱ》(高速)スイッチをしっかりと押していますか。
スイッチはしっかりと押してください。
- ブレンダーや泡立て器、チョッパーが正しく本体に取りつけられていますか。
正しく取り付けられていないと、本体のモーターが空回りします。

Q2 調理物がもれる

容器に材料を入れすぎていませんか。
チョッパー容器の《Max》の目盛以上に材料を入れられないでください。材料の量が多い場合は、一度電源を切って、チョッパーから本体を取りはずし、容器の中の材料を減らしてください。

Q3 本体が異常に熱い 異臭がする

- 定格時間を超えて使っていませんか。
- 定格時間を超えて、連続運転しないでください。
 - 定格時間よりも短い運転(例えば、10秒間の運転など)をくり返す場合は、運転の合間に1分以上(チョッパーは2分以上)の休みをはさんでください。
 - 運転時間の合計が、定格時間を超えたら、必ず電源プラグを抜き、30分以上休ませてください。

Q4 カッターや泡立て器などが 空回りする/材料がうまく かくはんしない/途中で運 転が止まる

- 材料が以下のような状態ではありませんか。
 - ・ 材料の量が多い
 - ・ 材料の切りかたが大きい
 - ・ 水分が少ない
 - ・ 調理できない食品が入っている一度電源を切って、電源プラグを抜き、本体を取りはずし、容器の中の材料の種類・量・切りかたなどを調節してください。
かたい食品などは、小さめに切って少量ずつ入れるとかくはんしやすくなります。水分が足りない場合は、材料を減らして水分を追加してください。
調理できない食品は取り除いてください。
- 材料がカッターや泡立て器などにはさまっていたり、カッターや泡立て器などがあたらぬ場所に付着したりしていませんか。
一度電源を切って、電源プラグを抜き、本体を取りはずし、ヘラなどを使って、カッターや泡立て器などにはさまっている材料を取り除いてください。材料がカッターの刃や泡立て器にあたらぬ場所に付着している場合は、ヘラなどを使って中央に集めてください。

仕様

品名(型番)	チョッパー付きハンドブレンダー (SM-B251)
サイズ(約) 本体+アタッチメント (幅×奥行×高さ)	6.3 cm × 7 cm × 40.7 cm (ブレンダー使用時) 13.8 cm × 13.8 cm × 37.5 cm (チョッパー使用時) 5.6 cm × 6.7 cm × 43.1 cm (泡立て器使用時) 本体 : 5.3 cm × 6.4 cm × 21.8 cm
電源	交流100 V、50/60 Hz
消費電力	120 W (ブレンダー使用時) 120 W (チョッパー使用時) 40 W (泡立て器使用時)
定格時間	1分(ブレンダー使用時) 1分(チョッパー使用時) 2分(泡立て器使用時)
質量(約)	0.8 kg (ブレンダー使用時) 1 kg (チョッパー使用時) 0.8 kg (泡立て器使用時)
電源コードの長さ(約)	1.8 m
付属品	専用計量カップ
生産国	中国

重要

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

| 部品・消耗品

劣化・消耗したり、紛失してしまったときは、お買い上げの販売店またはインターネットでご注文いただけます。詳しくは以下のホームページをご確認ください。

<https://siroca.jp/>

部品名	部品コード
専用計量カップ(カップふた付き)	SM-B251SC
ブレンダー	SM-B251BL
泡立て器(泡立て器接続部付き)	SM-B251WS
チョッパー (チョッパー専用ふた付き)	SM-B251CC
きざみカッター	SM-B251CT

保証とアフターサービス

— 必ずお読みください —

▶ 保証書(裏表紙)

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。

保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

▶ 修理を依頼される時

取扱説明書の内容をご確認いただき、なお異常のあるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターにお問い合わせください。

保証期間中(お買い上げ日から1年未満)の修理

保証書の規定により、無料で修理いたします。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎている(お買い上げ日から1年以上)修理

修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。

▶ 保証期間

お買い上げ日から1年間です。消耗部品は保証期間内でも有料とさせていただきます。

▶ 補修料金のしくみ

補修料金は技術料(故障した製品の修理および部品交換などにかかる作業料金)と部品代(修理に使用した部品の代金)などで構成されています。

▶ 補修性能部品の保有期間

この製品の補修性能部品の保有期間は、製造終了後6年です。

その製品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といえます。

▶ 補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。

お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

— 長年ご使用の製品の点検を! —

- 長年ご使用の製品では、電気部品の経年劣化による発煙・発火のおそれがあります。
- ご使用前に必ずご確認ください、次のような症状がある場合は、すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターにご連絡ください。点検・修理費用などはシロカサポートセンターにご相談ください。
 - 電源プラグ・コードが異常に熱くなる
 - コードに傷がついたり、触れると通電したりしなかったりする
 - 本体が変形したり、異常に熱い
- 定期的に「安全上のご注意」を確認してお使いください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
- 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

— お客様の個人情報のお取り扱いについて —

- シロカ株式会社(以下「弊社」)は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
 - (a) 修理やその確認、業務を委託する場合
 - (b) 法令の定める規定に基づく場合

シロカの最新情報はこちらでチェック!



シロカ公式
Facebook
www.facebook.com/siroca.jp



シロカ公式
Instagram
www.instagram.com/siroca.jp/

保証書

持込修理

本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本書は大切に保管してください。

お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書と製品を併せた状態で、お買い上げいただいた販売店、またはシロカサポートセンターまでお問い合わせください。

品名：チョッパー付きハンドブレンダー

お買い上げ日： 年 月 日

型番：SM-B251

製造番号：

保証期間：お買い上げ日より本体1年間

販売店：店名・住所・電話

お客様：

ふりがな

お名前

ご住所

お電話

お願い：未記入の保証書の場合、お買い上げ日を証明するレシート、送り状などを必ず添付してください。証明がない場合、保証対象にならない場合があります。

この保証書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。

お買い上げ日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベル、その他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき弊社が無料修理いたしますので、製品と本保証書をご用意のうえ、お買い上げいただいた販売店、またはシロカサポートセンターまでご依頼ください。

ご購入、ご贈答などで、お買い上げいただいた販売店に修理が依頼できない場合は、シロカサポートセンターまでご連絡ください。

なお食品の補償など製品の故障以外の保証はいたしかねます。

保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。

- (1) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- (2) お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
- (3) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害、異常電圧、その他の外部要因による故障または損傷。
- (4) 車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
- (5) 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用など）に使用された場合の故障または損傷。
- (6) 本書のご提示がない場合。
- (7) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。お買い上げ日を証明するレシート、送り状などの証明書がない場合。通信販売、インターネットでお買い上げ時、ご注文確認メールなどご購入履歴を確認できるものの提示がない場合。
- (8) 樹脂加工やメッキの摩耗や打痕、プラスチック部の損傷。（かすり傷、へこみなどを含みます）
- (9) 腐食による故障、及び損傷。
- (10) 消耗部品の交換。

(11) お買い上げの製品が、有償無償を問わず譲渡されたもの（中古品）であった場合。

2. 修理に際して再生部品、代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、処分させていただきます。
3. 本書に基づく無料修理（製品交換を含みます）後の製品については、最初のお買い上げ時の保証期間が適用されます。
4. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

従って、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

シロカ株式会社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2丁目4番地 東京建物神保町ビル5F

19090013

修理・使いかた・お手入れなどに関するご相談・ご依頼は、下記までお問い合わせください。

ホームページ（お客様サポート）

電話でのお問い合わせ：シロカサポートセンター

よくあるご質問やメールでのお問い合わせはこちらをご覧ください。



<https://siroca.co.jp/support/>



部品・消耗品のご購入については
こちらをご覧ください。

<https://siroca.jp>

ナビダイヤル  **0570-001-469**

上記番号をご利用いただけない場合 **03-3234-8800**

受付時間：平日 **10:00～17:00**

土日祝 **10:00～12:00 / 13:00～17:00**

（弊社指定休業日を除く。詳しくはホームページをご覧ください）

時間帯によっては電話が混み合い、つながりにくい場合がございます。

通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直しください。

サポートセンターの電話番号、住所は予告なく変更することがあります。